

講座・研究室名： パーキンソン病臨床データ解析研究講座

所属長・責任者名： 服部 信孝

開設の目的・概要 等			近年、本邦は未曾有の超高齢社会に突入しており、厚生労働省の平成29年版高齢社会白書によると、65歳以上の高齢者人口は、約3500万人となり、総人口に占める割合(高齢化率)も 27.3%となっている。このような状況において、加齢がリスクであるパーキンソン病の発症率が増加することは間違いない。本講座は臨床データを取得し、観察研究の解析からクラスター解析をして最終的にはプレジジョンメディスンを確立する。		
区分	番号	－	発表者名,発表タイトル（題目・演題・課題等）,学会名,場所,発表年月日等	DOI	国際共同
国内学会発表	1		Eriko Igami, Noriko Nishikawa, Daiki Kamiyama, Chihiro Abe, Genko Oyama, Taku Hatano, Nobutaka Hattori. 診療におけるホスレボドパ/ホスカルビドパの使用 方法. 第65回神経学会学術大会. 東京. 2024年5月		